

1 総括

(1) 出題の概要

平成19年度の学力検査の出題については、中学校教育の発展と充実に資するよう、学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

ア 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。

イ 思考力・判断力、表現力等をみる問題をやや多く取り入れた。

ウ 受検生の興味や関心などが生かされるよう、例年どおり全教科にわたり選択問題を出題した。

(2) 結果の総評

各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れていた。しかし、これらを発展させ、筋道を立てて考え、総合的に判断し、結果を適切に表現するなどの応用力をみる問題については、さらに努力が必要な状況であった。

平素の授業や日常生活の中で、主体的に思考の領域を広げ、豊かで的確な表現力を身に付けるよう努めることが、今後とも望まれる。

2 各教科の概要

(1) 国語

ア 基本的な語彙力を問う問題など、基礎的・基本的な事項の理解をみる問題については、平素の学習の成果が表れており、全体的に良好な結果であった。

イ 古文及び漢文に関して、展開を的確に読み取り、適切に記述する問題については、いま一步であった。

ウ 文脈における語句の意味を正確に理解し、内容を適切に読み取って答える問題については、おおむね良好であった。

エ ささまざまな活動を通して、言語に関する基礎的・基本的な事項について、文脈に即してその意味や用法を理解するとともに、文章の内容を的確に読み取る力、及び自分の思いや考えを論理的かつ明確に表現する力など、国語に関する総合的な力を養うことが、今後とも望まれる。

(2) 社会

ア 地理・歴史・公民の各分野とも、基礎的・基本的な知識や概念の定着をみる問題については、平素の学習の成果が表れており、おおむねできていた。

イ 地図、統計、写真等の資料を活用し、社会的事象の特色や相互の関連について考察する力をみる問題については、いま一步のところもみられた。

ウ 地理的分野について選択問題を設けることで、中学校の地理学習への対応を図り、学校での学習に合わせて問題を選択できるように配慮して問うこととしたが、おおむねできていた。

エ 社会的事象に対する関心を高め、主体的に課題を追究する意欲や態度を養うとともに、諸事象を幅広く多面的・多角的に考察し、適切に表現する力を育成することが、今後とも望まれる。

(3) 数 学

- ア 基礎的・基本的な計算技能の習得や数学的な概念の理解に関する問題についてはよくできていた。
- イ 具体的な事象を用いて数学的な見方や考え方をみる問題において、平素の学習の成果がよく表れており、基本的な問題はおおむね良好であった。
- ウ 論理的に考え正確に表現したり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、いま一歩であった。
- エ 基礎的・基本的な内容についての学習を中心としながらも、日常の事象に関連付け、数学を活用して論理的な思考力、直観力、表現力等を身に付けるよう、多様な学習活動が、今後とも望まれる。

(4) 理 科

- ア 自然の事物・現象における基礎的・基本的な事項に関する問題についてはよくできており、平素の学習の成果がうかがわれた。
- イ 観察、実験の方法を理解して、結果を基に理由を説明する問題については、いま一歩であった。
- ウ 科学的に調べる方法が身に付いているかを総合的にみる問題については、おおむね良好であった。
- エ 自然や身近な現象に対して、好奇心をもち、主体的に探究する姿勢を養うとともに、目的意識をもった観察、実験を一層重視して、科学的に調べる能力・態度や、得られた結果について考察し、表現する力を育成していくことが、今後とも望まれる。

(5) 英 語

- ア ネイティブ・スピーカーによる日常的な対話を聞いて、内容の要点を把握する力をみる問題はよくできており、音声によるコミュニケーション能力を重視した活動の成果がうかがわれた。
- イ 身近な事柄を話題にした文章を読んで、前後の流れにふさわしい表現を選ぶ問題や文章の概要や要点を把握する力をみる問題は、おおむね良好であった。
- ウ 内容を読み取り、状況に応じて場面等にふさわしい英語で表現するなど、表現力をみる問題については、基礎的・基本的な知識を運用できていないところもみられ、いま一歩であった。
- エ 話の概要や要点を読み取る力を養うとともに、さまざまな状況に対して、自分で考え、判断し、積極的に英語で表現する能力を育成していくことが、今後とも望まれる。